



国連の環境技術移転プロジェクト実施におけるジェンダー主流化とジョブ型雇用

飯野福哉 国際連合工業開発機関(UNIDO)
ウィーン、オーストリア



ジェンダー：社会的・文化的に形成された性

ジェンダー平等



ジェンダー平等で日
本のGDPは5500億
ドル(58兆円)増加
するという推定も

デジタル化がジェンダー不平等に最も影響するのが化学産業

2020年工業開発報告書

デジタル時代における工業化
概要



特に開発途上国の製造業労働市場（飲食品・タバコ、繊維・皮革および化学産業）に従事する女性は、男性よりも高いデジタル化リスクに直面する傾向がある

化学工学会がジェンダー平等に貢献できる余地は大きい



ジェンダー平等：男性と女性が同じになることを目指すものではなく、性別にかかわらず人生や生活において、さまざまな機会が平等に与えられ、自己実現の機会を得られるような社会の実現を目指すことを指す。

ログフレームとTheory of Change*

	Means of verificat ion	Indicators (baselines and targets)	Assumpti ons or Risks	Mitigati on measur es
目的Objectives				
成果Outcome				
結果Output 1				
結果Output 2...				

* https://www.unido.org/sites/default/files/files/2019-01/Part%20II%20-%20%20Thematic%20Review_Strengthening%20knowledge_Policy%20advice_ANNEXES_0.pdf

環境技術移転プロジェクトのログフレーム例

	Means of verification	Indicators (baselines and targets)	Assumptions or Risks	Mitigation measures
Objectives: N国と周辺国におけるコールドチェーンにより栄養のある安全な生鮮食品が市場に出回る				
Outcome: N国中小企業がオゾン層破壊物質を使わないエネルギー効率の良い冷凍・冷却装置を製造する				
Output 1: オゾン層破壊係数0で地球温暖化係数の小さい冷媒への切替を促進する政策・法律文案と3省庁での実施体制の提案				
Output 2: 中小製造企業200社における可燃性自然冷媒を用いた冷蔵機器製造装置の導入と実地トレーニングを行う				

環境技術移転プロジェクトにおけるジェンダー主流化

	Means of verification	Indicators (baselines and targets)	Assumptions or Risks	Mitigation measures
Output 2: 中小製造企業200社における可燃性自然冷媒を用いた冷蔵機器製造装置の導入と実地トレーニングを行う	装置輸入時の税関書類 訓練参加者リスト	B)0 T)200(女性が経営者の会社10)	可燃性物質 取扱政策とカリキュラム	政府関係者と教育機関の協力が得られる
Output3: 女性の新規技術者20人養成	学費補助受領書 卒業証書	B)3 T)23	女性の技術職希望者が20人以上応募する	既存の女性の技術者にキャリアセミナー

定義

ジェンダー主流化とは、すべての開発政策、施策、及び事業の計画、実施、モニタリング、評価の各段階で、ジェンダー視点に立った上で開発課題やニーズ、インパクトを明確にしていくプロセスのことであり、ジェンダー平等を達成するために必要な手段であると認識されている (JICA)

国際開発プロジェクトの企画、実施で使うログフレームというツールは、化学工学の研究や業務をどう企画し実施を支援するかというツールとしても使える

環境技術移転プロジェクト実施中におけるジェンダー主流化

政策立案・実施) 女性専門家を入れる。国のジェンダー政策を環境政策でも参照する。

人事) 女性に特化した募集をする。女性対象のキャリアセミナーを開催する。女性の活躍を支援するNGOなどを巻き込んで募集広告を出す。面接には女性(場合によっては男性も?)を選ぶ。職務記述書を女性が働きやすい条件に合わせる(ジョブ型雇用)

調達) 技術供与企業における女性の経営者や技術者の数を評価基準に加える。技術評価に女性技術者が必ず参加するようにする。技術移転・装置稼働訓練には女性の指導者や参加者が必ずいるようにする

イベント) イベント日程は週末を挟まない。出張が必要な場合は月曜日(週末の次の日)も避ける。

UNIDOのジェンダー戦略(2020-2023)

ビジョン: 女性と男性が平等に包摂的で持続可能な産業開発を引率し、参加し、受益する

アウトカム: (1) 女性が経済力をつけ、収入が保障され、働きがいある人間らしい仕事につく(2) 女性がジェンダー平等を志向するガバナンス体制に平等に引率し、参加し、意思が反映される

アウトプット: (1) 女性を特に対象にした技術支援やトレーニングを行う。(2) 女性の業界団体やネットワークの能力開発 (3) 金融機関、統計機関、ビジネス支援室などの支援団体の能力開発 (4) 相手国政府省庁や団体の政策やジェンダー担当者の意識向上、(5) 能力の違いや必要な行動を見極めるための性別データの収集とジェンダー分析と診断 (6) ジェンダー考慮された産業化を目指した出版とトレーニング資料

連絡先 : f.iino@unido.org



Ruth Bader Ginsburg

RBG 検定？（発案者：飯野福哉）

*Women belong in all places
where decisions are being made.*

**その決定がなされた場に女性が参加
していましたか？**

化学工学会の札幌宣言のジェンダー関連の項目

(多様性と包摂性、ジェンダー平等、社会的弱者、難民への認識)

6. 次の 10 年間で、化学工学分野にて研究や開発を率いる女性の教員、学生、研究者、そしてエンジニアを増やすために我々は最善の努力を尽くす。
7. ジェンダー不平等の是正は全員の就労環境の改善に貢献し、全体として公共の「健康、安心、幸福」を向上させると我々は信じる。
8. 我々は包摂性がイノベーションを生み出すと信じており、協働する人々の多様な異なる見解、価値、文化的背景を率先して取り入れる。
9. 我々は社会的弱者、難民、および工学教育・研究能力に不足するコミュニティの経済力強化のために、化学工学の能力開発機会を向上するよう資源を動員する決意をする。